

目指せ!地域で活躍するリーダー



桜の森アカデミー  
Sakura no mori Academy

子育て支援リーダーコース

5月~7月開講

# 平成30年度 子育て支援リーダーコース 受講生募集のご案内

体系的なカリキュラムで  
広く深く学ぶ



大学生と一緒に学び  
お互いに高め合う



自分と周囲の人の  
「育ち合い(愛)」がテーマ



子育てのこと

子どものこと

心と体のこと

知識とスキルが身につく

地域を支える  
子育ての達人になろう

所定の講座を修了すると  
「子育て支援員」の  
資格を取得できます。



公立大学法人

山口県立大学

Yamaguchi Prefectural University

# 桜の森アカデミーのご案内

桜の森アカデミーは、生涯現役社会を主体的に担う人材や地域リーダーを育成する「共生教育」講座です。



## 新やまぐち学リーダーコース

地域観光を支える人材を育成

## 子育て支援リーダーコース

地域の子育てを支える人材を育成

## 認知症ケアリーダーコース

地域の介護力を高める人材を育成



### 地域リーダーの養成

体系的なカリキュラムを提供し、所定の学修コースを修了した方を「リーダー」と認定します。



### 異世代交流学習の拠点

県民と学生が世代をこえて共に学ぶ、地域密着型の学習システムです。

### アクティブ・ラーニング

グループ学習やフィールドワークを取り入れ、受講者の積極的な参加と能動的な学修を促します。

## 子育て支援リーダーコース

- ＊自分と周囲の人々の「育ち合い(愛)」のための知識と技術を有する人材の育成を行います。
- ＊心と心をつなぐコミュニケーションスキルや心とからだのセルフメンテナンスの仕方が身につきます。
- ＊所定の講座を修了すると、「子育て支援員」の資格を取得できます。



## 講座の一部をご紹介します



### 「子ども・子育て家庭の現状」

孤立しがちな子育て中の母親について知り、私たちに何が出来るのかを一緒に考えます。



### 「絵本の読み聞かせ」

色々な視点から、絵本の魅力を探り、読み聞かせを行う際の注意点や、多彩な表現方法を学びます。



### 「子どもの救急救命」

非常事態が起きた時、適切な応急手当ができるかが重要です。いざという時にあわてず対処できるよう実技を学びます。



### 「傾聴する力を身につけよう」

支援者として、相手の話を傾聴し合うことの意義、共感による励ましなどを体験的に理解します。



# 子育て支援リーダーコースカリキュラム

単元	科目	講座名	内容
Ⅰ 子どもと 子育ての理解 (10.5時間)	導入	・学びの動機を確認する	子どもの発達について理解を深め、子育ての場面における大人の関わり方を学びます。その上で、子ども・子育て家庭の現状を把握し、支援するための視点を学びます。
	子ども家庭福祉	・子ども・子育て家庭の現状 ・子ども家庭福祉 ・児童虐待と社会的養護	
	発達理解	・子どもの発達 ・保育の原理	
	子育てと支援	・子どもの障害 ・対人援助の価値と倫理 ・総合演習	
Ⅱ-1 心とからだを 育てるスキル(1) (15.0時間)	健康	・子育てのいま ・子どもの救急救命 ・食品の安全性	子どもが心身ともに健康に過ごし、成長するために知っておきたい基本的な知識とスキルを身につけます。また、成長期の栄養で大切なこと、食文化について学びます。
	食育	・成長期のスポーツ栄養 ・日常で伝える食文化 お茶について	
Ⅱ-2 心とからだを 育てるスキル(2) (15.0時間)	表現	・絵本の読み聞かせ(1) 読み聞かせの基礎と著作権 ・絵本の読み聞かせ(2) おはなし会のバリエーション ・絵本の読み聞かせ(3) 絵本の魅力について ・俳句(1) ・俳句(2) ・俳句(3)	観察する目を育て、様々な感情を自分の言葉で表現するスキルや、読み聞かせについて学びます。また、ストレスと向き合い、リラクゼーションを通してリフレッシュするスキルを身につけます。
	癒し	・子育てストレス解消法リラクゼーション ハンドマッサージ ・子育てストレス解消法リラクゼーション フットマッサージ	
Ⅱ-3 心とからだを 育てるスキル(3) (9.0時間)	コミュニケーション スキル	・こころを知る・育てる ①社会の変化とこころの変化 ・こころを知る・育てる ②子どものこころを育てる ・傾聴する力を身につけよう 理論編 ・傾聴する力を身につけよう 実践編① ・傾聴する力を身につけよう 実践編② ・傾聴する力を身につけよう 実践編③	子ども・子育てに関係する様々な悩み・葛藤を抱える方を、コミュニケーションで支援する方法を講義・演習(※)で学びます。※ロールプレイ(役割演技)を含みます。
Ⅲ 子育て 支援活動 (22.5時間)	放課後の 子ども達	・放課後児童クラブの目的及び制度内容 ・放課後児童クラブにおける権利擁護とその機能・役割等 ・子どもの生活と遊びの理解と支援 ・放課後児童クラブに従事する者の仕事内容と職場倫理 ・子どもの生活面における対応等 ・子どもの発達理解と児童期(6歳~12歳)の生活と発達	今、子育てに求められる社会的支援を理解し、自分が出来る子育て支援活動について考えます。社会的支援の具体的な施設として、放課後児童クラブや地域子育て支援拠点について学びます。
	地域子育て 支援拠点	・地域子育て支援拠点事業の全体像の理解 ・利用者の理解 ・地域資源の連携づくりと促進 ・地域子育て支援拠点の活動 ・講習等の企画づくり ・事例検討	
	利用者 支援特定型	・利用者支援事業の概要 ・利用者支援専門員に求められる基本姿勢と倫理 ・記録の取扱い ・保育資源の概要 ・振り返りとグループ討議	
Ⅳ総合(3時間)	振り返り レポート	・振り返りとまとめ ・レポート提出	

# 平成30年度桜の森アカデミー概要

## 講座について

- ・コース:新やまぐち学リーダーコース、子育て支援リーダーコース、認知症ケアリーダーコース
- ・対象:本学の学生及び一般
- ・受講資格:高校卒業程度
- ・定員:各コース30名(うち学生15名程度)
- ・開講時期:5~7月(子育て支援リーダーコース)
- ・開講時間数:75時間(子育て支援リーダーコース)
- ・開催場所:山口県立大学地域共生センターセミナー室1 他
- ・部分受講:可能な範囲で単元ごとの部分受講を受け入れる
- ・受講料:全体受講は63,000円、部分受講:9,000円~19,000円(子育て支援リーダーコース)  
山口県立大学生は無料 ※詳細は申込書参照
- ・リーダーの認定:全体受講者のうち、所定の条件を満たした者に「リーダー認定証書」を交付
- ・資格等:所定の講座を修了すれば子育て支援員資格が取得可(子育て支援リーダーコース)
- ・その他:子育て支援リーダーコースのみ託児あり ※先着順

## 受講説明会

日時:  
4月13日(金) 16:00~17:00  
4月14日(土) 14:00~15:00

会場:  
地域共生センターセミナー室1

「桜の森アカデミー」「子育て支援員」  
「申込手続き」などについて詳しく説明いたします。

## 申込について

申込期間:4月9日(月)~4月23日(月)必着  
申込方法:メール・FAX・郵送※先着順

申込先:下記参照

申込後の手続き:受講決定後、受講確認書を送付しますので、その後期限までに受講料を納入して下さい。

※現金の取扱いは行っておりません。振込手数料は自己負担となります。

## お問い合わせ・お申込み先

山口県立大学 地域共生センター 〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1

TEL:083-928-3562 FAX:083-928-3021 E-mail:sakuranomori1@yamaguchi-pu.ac.jp

## 講座開催場所

山口県立大学 地域共生センター セミナー室等

※託児は山口県立大学 地域共生センター 交流スペース Yucca等で行います。



## 申込み及び受講に際しての留意事項

### 申込みに際しての留意事項

- ・カリキュラムを熟読され、それぞれの受講計画を立ててお申し込みください。
- ・お申し込み受付は、全体受講の方が優先となります。部分受講は、各単元に空きがある場合に受け付けます。
- ・志望動機等申込書の記載内容により、受講をお断りすることもあります。
- ・先着順で定員に達した場合、締め切ります。

### 受講に際しての留意事項

- ・講座開始時間を守ってください。30分以上の遅刻・退席は出席扱いとなりません。
- ・出席確認簿を、講座が始まるまでに毎回提出してください。
- ・カリキュラム表にある日時、講座場所及び講座内容については、天候、講師等の都合で変更することがあります。

- ・フィールドワークの時間は、移動時間を含みません。
- ・講座によっては、材料費等をご負担いただくことがあります。
- ・昼食はさむ講座については、食事は自己負担となります。
- ・託児については、毎回の報告及びキャンセルの連絡を確実に行ってください。当日キャンセルはできません。
- ・講座風景を写真やビデオ撮影し、山口県立大学のホームページや広報誌等に掲載します。顔写真等掲載不可の方は事前にお申し出ください。

### リーダー及び履修証明書の取得に向けて

- ・新やまぐち学リーダーコース、子育て支援リーダーコースでは各単元の「単元取得に必要な時間数」以上修得し、全体で75時間以上の履修をすること。認知症ケアリーダーコースでは全ての講座を履修すること。